

平成25年度「B & G海洋性レクリエーション指導員」  
第15回アドバンスト・インストラクター養成研修  
第15回アクア・インストラクター養成研修

修了報告書

事業部指導者養成課

B & G海洋性レクリエーション指導員規程第3条及び第4条に基づき、下記のとおり研修を実施し、78名が事故なく無事修了したことをご報告申し上げます。

記

1. 期間

(1) アドバンスト・インストラクター養成研修

平成25年5月30日(火)～7月3日(水)(35日間)

(2) アクア・インストラクター養成研修

平成25年5月30日(火)～6月21日(金)(23日間)

2. 場所 本部町B & G海洋センター(沖縄県本部町)

3. 参加者 合計78名(74海洋センター)

(1) アドバンスト・インストラクター養成研修

35海洋センター

{ 海洋センター所在自治体首長推薦 34カ所  
財団が認める団体等の長の推薦 1カ所

財団職員

男性30名、女性5名 合計35名

(2) アクア・インストラクター養成研修

39海洋センター

{ 海洋センター所在自治体首長推薦 30カ所  
財団が認める団体等の長の推薦 9カ所

男性35名、女性8名 合計43名

※別紙1、2 参加者名簿別添

#### 4. 講師

氏名	所属・役職	科目
水越 祐一	NPO法人 気象キャスターネットワーク	気象・海象
海野 義明	オーシャンファミリー 代表理事 B & G 葉山海洋クラブ 代表	海洋教育と海洋環境
柳 敏晴	神戸常盤大学短期大学部 教授	海洋性レクリエーション総論
上野 真宏 篠崎 充洋 横倉 厚 兵後 有亮 尾辻 章	NPO法人日本ライフセービング協会 公認インストラクター	心肺蘇生法（CPR）講習会 （日本ライフセービング協会認定）
谷川 真理	(株)アチーブメント	運動実技・講話
中村 真衣 木尾 克己	(株)ジェイエスエス スイミングアドバイザー ゼネラルアドバイザー	水泳実技・講話
椿本 昇三	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授	着衣泳
小峯 力	流通経済大学 准教授 日本ライフセービング協会 理事長	海洋性レクリエーション活動と安全
古瀬 浩史 中村 淳美 渡辺 未知	(株)自然教育研究センター 取締役 (株)自然教育研究センター (株)自然教育研究センター	インタープリテーション
小松 一憲	B&G 財団 テクニカルアドバイザー	ヨット理論・実技指導
濱本 徹夫	日本OP協会理事長 大分県B & G別府海洋クラブ代表	ヨット実技
工藤 祐直	B & G 全国指導社会 会長 南部町長	講話
川島 正光	B & G 全国指導者会 副会長 久喜市栗橋海洋センター	アドバンスト・指導者会講話
金久 博	B & G 全国指導者会 副会長 阿南市阿南海洋センター	アガ・指導者会講話

## 5. サポートスタッフ

氏名	所属・役職	科目
荻野 治美	小野町B&G海洋センター	マリン実技・先輩講話
浜岡 邦之	愛南町御庄海洋センター	マリン実技
中村 大悟	中津市耶馬溪海洋センター	水泳実技
古崎 敏雄	周防大島町海洋センター	カヌー実技・ヨット実技
谷場 宣彦	志賀町富来海洋センター	アカア
竹内 浩子	四万十町窪川海洋センター	アカリズム
小森田 弘憲	日置市東市来	アカア
藤田 昌伸	四万十町窪川海洋センター	アカア

## 6. 修了記念講話特別講師

氏名	所属・役職	科目
佐藤 光宏	岐阜県川辺町 町長	アカア・インストラクター養成研修 修了記念講話
善岡 雅文	北海道砂川市 市長	アドバンス・インストラクター養成研修 修了記念講話

## 7. 指導教官

氏名	所属・役職	指導期間
坂倉 一寿	事業部 部長	5/24~6/4 6/28~7/4
姫野 洋児	ネットワーク推進部 部長	6/9~6/17
清水 康雄	海洋センター支援部 次長	6/25~7/2
岡田 聖一	海洋センター支援部 クラブ課 次長	6/3~6/7
持田 雅誠	総務部 総務課 課長	6/9 ~ 6/16
宮寄 秀一	ウォーターセーフティニッポン 課長	6/21 ~ 6/28
朝日田 智昭	事業部 海洋教育課 課長	6/16 ~ 6/24
栗山 剛	海洋センター支援部 クラブ課 課長	5/22~6/3 6/13~6/22
東條 剛之	ネットワーク推進部 広報課 課長	5/29 ~ 6/9
玉手 陽子	海洋センター支援部 センター課 課長	6/28 ~ 7/4
鈴木 昭正	総務部 経理課 係長	6/6~6/15
中島 博臣	事業部 海洋教育課 係長	5/24~6/9 6/27~7/4
山口 雄介	事業部 海洋教育課 課員	5/24~6/16
木村 康幸	総務部 総務課 課員	5/24~6/3 6/21~6/28
原田 文子	事業部 指導者養成課 課員	5/27~5/31

菱木 英三	事業部 指導者養成課 参事	5/22~6/11 6/14~6/22
細井 正幸	事業部 指導者養成課 参事	6/3~6/10 6/16~6/28

#### 8. 役員視察指導

氏名	所属・役職
広渡 英治	B & G財団 理事長
古山 透	B & G財団 常務理事

#### 9. 式典等来賓・出席者

(1) アドバンスト・インストラクター／アクア・インストラクター養成研修開講式

##### ①財団出席者

氏名	所属・役職
広渡 英治	B & G財団 理事長
古山 透	B & G財団 常務理事

##### ②来賓出席者

氏名	所属・役職
島袋 吉徳	本部町議会 議長
仲宗根 章	本部町 教育委員会 事務局長
荒木 敏明	財団法人 健康科学財団 理事
福島 広太郎	財団法人 健康科学財団 事務局長
国吉 武	財団法人 健康科学財団 ディレクター
大城 政幸	財団法人 健康科学財団 マネージャー

(2) アクア・インストラクター養成研修閉講式

##### ①財団出席者

氏名	所属・役職
古山 透	B & G財団 常務理事

##### ②来賓出席者

氏名	所属・役職
佐藤 光宏	川辺町 町長
川上 政雄	与論町 副町長
島袋 吉徳	本部町議会 議長
仲宗根 清二	本部町 教育長

荒木 敏明	財団法人 健康科学財団 理事
福島 広太郎	財団法人 健康科学財団 事務局長
国吉 武	財団法人 健康科学財団 ディレクター
大城 政幸	財団法人 健康科学財団 マネージャー

(3) アドバンスト・インストラクター養成研修閉講式

①財団出席者

氏名	所属・役職
菅原 悟志	B & G財団 専務理事

②来賓出席者

氏名	所属・役職
善岡 雅文	砂川市 市長
赤間 正幸	大郷町 町長
浅野 辰夫	大郷町 教育委員会 教育課長
西川 裕	津奈木町 町長
岡村 春雄	周防大島町 副町長
長谷川 哲	川辺町 教育長
朝倉 健作	和気町 教育長
千葉 一賀	滝川市体育協会事務局次長
石井 正則	八百津町 教育委員会 教育課長
入江 孝士	石岡市 教育委員会 スポーツ振興課長
島袋 吉徳	本部町議会 議長
仲宗根 章	本部町 教育委員会 事務局長
荒木 敏明	財団法人 健康科学財団 理事
福島 広太郎	財団法人 健康科学財団 事務局長
国吉 武	財団法人 健康科学財団 ディレクター
大城 政幸	財団法人 健康科学財団 マネージャー

9. 履修時間、および研修スケジュール

達 第209号「B & G指導員の養成及び研修の教科に関する達」に基づき実施

(1) アドバンスト・インストラクター養成研修 計238.5時間(規定時間200時間以上)

(2) アクア・インストラクター養成研修 計152時間(規定時間120時間以上)

詳細は別紙3、4のとおり。

10. 修了試験、および検定結果

- (1) アドバンスト・インストラクター養成研修  
研修生 全35名が学科試験及び実技試験に合格。
- (2) アクア・インストラクター養成研修  
研修生 43名が学科試験及び実技試験に合格。

#### 11. 資格認定および登録

上記の修了試験合格者を、B&G海洋性レクリエーション指導員規程 第3条に基づき、それぞれアドバンスト・インストラクター、アクア・インストラクターとして認定した。

また、同規程第8条ならびに第9条に基づき指導員として登録し、認定証および指導員証を発行した。

詳細は別紙7、8、9のとおり

#### 12. 優秀賞・特別賞・教官賞

研修生活をリードし、他の模範となる研修生を「常務理事賞」と称して、修了に際し表彰した。

- (1) 第15回アドバンスト・インストラクター養成研修 最優秀賞
  - ・ 松本 憲明 熊本県養玉名市岱明 B&G 海洋センター
  - ・ 高橋 栄揮 岩手県花巻市東和 B&G 海洋センター
- (2) 第15回アドバンスト・インストラクター養成研修 優秀賞
  - ・ 増田 一樹 静岡県掛川市大台 B & G 海洋センター
- (3) 第15回アクア・インストラクター養成研修 最優秀賞
  - ・ 中西 浩司 香川県高松市国分寺 B & G 海洋センター
- (4) 第15回アクア・インストラクター養成研修 優秀賞
  - ・ 松野 友迪 北海道沼田町 B & G 海洋センター

#### 13. 特別賞

アドバンスト・インストラクター養成研修において、ヨット実技研修の最終日に実施するヨットレースの優勝者ペアを「理事長賞」と称して、修了に際し表彰した。

- ・ 藤谷 匠 北海道室蘭市 B&G 海洋センター
- ・ 宗久 佳矢 岡山県和気町 B & G 海洋センター

#### 14. 事業概要

平成25年度「B&G海洋性レクリエーション指導員」養成研修は、アドバンスト・インストラクター養成研修生35名、アクア・インストラクター養成研修生43名の計78名の参加者を集め、沖縄県・本部町海洋センターにおいて、アドバンスト・インストラクター養成研修は、全35日間、アクア・インストラクター養成研修は全23日間の所定の研修内容を実施し、全員が

各検定に合格し全日程を修了した。

平成 17 年度より、研修修了後の指導者ネットワークの拡大、および事業の効率化を図るため、アドバンスト・インストラクター（以下、アドバンスト）とアクア・インストラクター（以下、アクア）の各養成研修を合同で開催している。

本研修は、海洋性レクリエーション活動、ならびにプール施設において実技指導に携わり、その実践活動を通じて青少年の育成及び海事思想の普及に努める指導者を養成することを目的とし、それぞれの活動において実技活動を実施し、その魅力を十分に体感しながら、「礼と節」、「ルールとマナー」の遵守、ならびに指導技術の習得を図るものである。

また研修を通じ、B & G 財団の理念について理解を図り、事業の紹介・体験を行うことにより、「B & G 財団の良き理解者」をつくり、財団事業の推進に繋げるものである。

## 15. 研修内容

### 《アドバンスト・インストラクター》

実技能力・指導力の充実を目指し、外部講師を招いたヨット、カヌー実技課業を行った他、海洋性レクリエーション活動に重要な気象・海象について今年度より新たに外部講師を招いて知識の習得を行った。

また、指導実習では、研修後の地域海洋センターにおける現場指導を見据えた、より実践的な課業を行った。また、地域のセンターで教室開催する場合の「指導プログラム」、海レク教室で取り入れられる「海レクプログラム指導案」をそれぞれ個人で作成した他、4 班に分け、上記の指導実習における「指導案」を作成し、実践指導を行った。

### 《アクア・インストラクター》

従来通り水泳指導法・幫助法の習得に主眼を置いた他、泳力の向上と、指導実習実施に向け「指導案」を作成し、実践指導を行った。

また、従来水泳実技に特化した研修であるが、近年のプール活動の多様化に伴い、財団事業のプログラムを紹介し海洋性レクリエーションの魅力を体感することにより、海洋センターをはじめ、各道府県地域海洋センター連絡協議会やブロックにおける海レクイベントへの実施と参加を促すための海レク体験も実施した。

### 《アドバンスト/アクア・インストラクター共通》

近年、泳力について参加基準に満たない参加があり、研修に支障をきたす参加者が多いことから、昨年度より水泳事前研修を開催し、従来、研修初日に行っていた泳力試験を開講式前に行なった。基準に満たない参加者は研修に参加することが出来ない。ということで参加基準を再度確認し、水泳事前研修や泳力試験を事前に行うことにより、研修期間内で 7 8 名全員が合格できた。

## 16. 別紙

- (1) H25アドバンスト・インストラクター養成研修参加者名簿
- (2) H25アクア・インストラクター養成研修参加者名簿
- (3) H25研修スケジュール・職員講師配置表
- (4) H25養成履修時間集計
- (5) H25効果測定・修了試験結果
- (6) 「B&G海洋性レクリエーション指導員」規程
- (7) B&G指導員の養成及び研修の教科に関する達
- (8) 「B&G海洋性レクリエーション指導員」養成課程の修了試験に関する達
- (9) H25アドバンスト・インストラクター養成研修 修了番号簿
- (10) H25アクア・インストラクター養成研修 修了番号簿
- (11) H25養成研修反省会まとめ・改善案

以上